

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	都市計画論	
科目基礎情報							
科目番号	94042			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻C			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	／適宜プリントを配布する。						
担当教員	野田 宏治						
到達目標							
(ア)環境共生都市の考え方を理解し、説明することができる。 (イ)自然との共生、自然の保全や再生を理解し、説明することができる。 (ウ)ゼロエミッションとリサイクルの必要性を理解し、積極的な参加とその重要性を説明することができる。 (エ)高齢化社会の到来にともなう社会生活や社会構造の変化を理解し、説明することができる。 (オ)自動車交通から公共交通への転換を理解し、パークアンドライド、キスアンドライドを説明することができる。 (カ)公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化について理解し、バリアフリー法を説明することができる。 (キ)近年の国土形成に係わる社会情勢を説明することができる。							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(可)						
評価項目(ア)	環境共生都市の考え方を理解し、説明することができる。						
評価項目(イ)	自然との共生、自然の保全や再生を理解し、説明することができる。						
評価項目(ウ)	ゼロエミッションとリサイクルの必要性を理解し、積極的な参加とその重要性を説明することができる。						
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	20世紀は開発型の都市整備を行ってきた。21世紀は、環境との共生を唱えた保全・再生型の都市整備を求め、今ある施設や設備を有効に最大限利用し、潤いのある都市づくりや節約型の都市づくりが求められている。一方で、2015年には65歳以上の高齢者が25%を越え、高齢化社会が加速する。いままでの健常者を中心とした社会構造から高齢者・身障者にとっても暮らしやすい社会構造への転換や都市構造の変革を身近なゴミ問題や交通問題などを題材として学ぶ。						
授業の進め方・方法							
注意点	日頃から社会問題に興味を持ち、自分の考えを持つこと。新聞を読み、社会変動を捉えること。_x000D__x000D_参考図書：国土交通白書 2014 平成26年度年次報告、環境白書 2014						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティ				
		2週	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティ				
		3週	自然環境との共生：ビオトープ、エコロード				
		4週	自然環境との共生：ビオトープ、エコロード				
		5週	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理				
		6週	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理				
		7週	里山、里地の保全と再生：里山、里地				
		8週	里山、里地の保全と再生：里山、里地				
	2ndQ	9週	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化				
		10週	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化				
		11週	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライド				
		12週	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライド				
		13週	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザイン				
		14週	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザイン				
		15週	再生可能エネルギー、スマートグリッド				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験		課題		合計		
総合評価割合	80		20		100		
専門的能力	80		20		100		